



富士橋(建設中)

かけはし

第182号
2022年10・11月号

発行：峡南教育事務所
教育支援スタッフ(地域教育担当)

南巨摩郡富士川町鞆沢771-2
TEL:0556-22-8154
FAX:0556-22-8144

HPでも御覧になれます。
<https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>



東岸から見た富士橋。
橋本体が繋がりました。

峡南地域、各町で秋のイベント開催

自然にふれ合う 早川町ラフティングツアー

早川町教育委員会主催で、ラフティングツアーが九月二五日(日)に行われました。早川町内在勤・在住の小学生以上の方を対象とし、二〇名の方が参加しました。「早川町の自然にふれ合う機会を増やす」ことを目的とし、早川町ならではの自然を生かしたイベントとして毎年実施されています。



当日は台風の影響による増水のため、コースを早川から富士川に変更しました。身延町役場から帯金までの区間約一〇kmを二時間程かけて、ツアーを行いました。参加者の皆

参加した()は、「自分たちの育った所で、こういう体験ができるのはすごく良かった。将来自分たちに子どもができた時も、自分たちが体験したことをやらせてあげたい。下の世代にも受け継がれていって欲しい」と感想を話してくれました。

ラフティングを楽しむとともに、地元の自然の豊かさにふれ合う良い機会になりました。



さんは、協力してパドルを操り富士川を下りました。波の高い場所では頭から水をかぶりながらもクリアしていました。途中、流れの穏やかな場所では、岸に上がり、思い思いの格好で川に飛び込みました。

富士川町文化財めぐり 健康ウォーキング

一〇月一六日(日)に、富士川町教育委員会主催の「富士川町文化財めぐり健康ウォーキング」が開催されました。これは同日開催の「富士川町スポーツフェスティバル二〇二二」に合わせて行われたものです。国及び県指定の文化財を見学しながら、八・五kmのウォーキングを行いました。

当日は晴天に恵まれました。一三名の参加者は、富士川町教育委員会生涯学習課の方の案内で、富士川いきいきスポーツ公園をスタートしました。



最初の見学地は、巻米地区にある「明王寺」です。明王寺は、開山一二五〇余年の歴史を持つ古刹です。国指定文化財

次に富士川町民俗資料館を見学しました。この建物は旧巻米小学校舎として、県文化財に指定されており、「太鼓堂」の名称で親しまれています。明治九年に建築された「藤村式建築」と呼ばれる建物です。その後「増穂尋常小学校本館」「増穂村役場」としても使用されました。



目次:

- 1 峡南地域 秋のイベント開催
早川町ラフティングツアー
富士川町文化財めぐり
健康ウォーキング
- 2 思春期体験学習
- 3 峡南地域各中学校
- 4 ことぶき勤学院祭中止
ふるさと山梨 郷土学習
コンクール表彰式
廃棄物適正処理学習会
南部中学校



めっきり寒くなってきました。この冬は、コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が心配されます。健康管理に十分注意しましょう。

峡南地域の山々も色づき、紅葉が美しい時期です。

こんな時だからこそ、少し心にゆとりをもって自然を眺めてみたいと思います。



峡南地域中学校 思春期体験学習



六月から一〇月にかけて、峡南地域九校の中学三年生を対象に、思春期体験学習が行われ、生命誕生の奇跡、命の大切さ、妊娠・出産・育児について学びました。

思春期体験学習は学校、町、峡南教育事務所が連携し、平成一一年より峡南地域で行われています。

コロナ禍の中で制約はありましたが、各校で工夫を凝らした体験学習を実施しました。生徒の皆さんは熱心に話を聴き、実習に一生懸命取り組みました。

各校生徒の感想を紹介します。

生徒の感想（一部抜粋 原文のまま） 六郷中学校

〇妊婦さんは寝てから起き上がるまでがとても大変だということを知りました。私たち男子は体験できないことを体験して、女性の大変さを知ることができたので貴重な体験だったなと思った。



普段簡単にできる靴下を履くこと。妊婦さんだと、履くのも一苦労

〇お母さんの大変さを理解することができて、改めてお母さんを好きになれた。将来自分に子供ができたとき、あの大変さを越えた先に可愛い赤ちゃんが生まれてきたら、本当に嬉しいだろうなと思った。



赤ちゃんを大事に、そして嬉しそうに抱っこする、ママ友4人

増穂中学校

〇結婚して、妊婦さんになって、出産し、育てるって、文字にすれば本当に簡単なことに見えるけど、たくさんさんの責任を伴う、大変な事なんだと改めて思いました。



緊張の一瞬、ドキドキしながら妊婦さんのお腹に触ります

〇妊婦さんの子供への思いや、辛いことや苦しいこともあったけれど、それを乗り越えるほどに、赤ちゃんのことが愛しいんだなあと思いました。命の成り立ちまでが本当に奇跡的だと思います。



赤ちゃんを膝にした、子育て中のお母さんに、インタビュー

身延中学校

〇「いのち」の大切さを、改めて感じました。自分が今、生きていられるということは、本当に奇跡なんだなと思いました。私は、お母さんに、産むのすごい大変だった、と教えてもらいました。このことを今日、頭に入れて授業を聞いていたら、とっても感謝できたし、いのちの尊さ、奇跡に気づくことができました。



オンラインで、子育て中の先生と交流

〇今回生きるための力として、愛・知恵・知識・勇気・思いやり・優しさ・人生力だと教わって、私は本当にたくさんのものをもらって、産まれて生きています。産ま



講師の先生の話を実践する生徒

早川中学校
〇赤ちゃんがどうやって生まれてきて、お母さんのお腹の中で育っていくところを知ることができて良かったです。

体の動きが変わったのでバランスを維持するのが難しいと思います。



妊婦キットをつけて、妊婦体験スタート

〇生まれる前のできごとや、運が良いと生まれやすいことが印象に残った。



生命誕生の授業に全集中の生徒

ビデオを見て、自分もこのようにあったのかと思った。

ことぶき勸学院祭 今年も中止

新型コロナウイルスの感染が収束に至っていない状況を踏まえ、今年度も勸学院祭が中止となりました。各教室の生徒さんの意見も参考にしながら担当学会議で決定されました。

峡南教室では、午後の活動が再開された六月から、練習に取り組んできました。今回、発表予定であった演目と練習の様子を紹介いたします。



二年生は講座の日の午後、感染症対策を行う中、勸学院二年生の山下利彦さん

（飯富太鼓保存会会長）の指導のもと、旧原小学校体育館で和太鼓の練習に励んできました。暑さに負けない熱い気持ちで練習を重ね、発表の演目である「かがり火太鼓」の演奏が一通りできるところまで上達していました。

一年生は前号でも紹介した高野裕先生を招き、合同庁舎三階大会議室で、朗読「平和って？」の練習に取り組んできました。

生徒の皆さんは、自分のパートを感情豊かに読み上げ、全員の台詞では、タイミングと気持ち合わせようと懸命に練習

の中で、中学校「ふるさと山梨大賞（知事賞）」を早川中学校二年のさんが受賞しました。研究主題は、「奈良田の焼畑と農業という



ふるさと山梨 郷土学習コンクール 表彰式

「ふるさと山梨郷土学習コンクール」は、山梨県教育委員会・ふるさと山梨郷土学習推進会議が主催で行われる事業です。「山梨に関する研究作品のコンクールを通して、山梨県の全ての児童生徒に、郷土への愛情や誇りを育むこと」「研究成果の発信を通して、山梨県の魅力や中小学校等における郷土学習の取組を広く県民に周知する」を目的としています。

一〇月二二日（金）、山梨県総合教育センター大研修室で、「表彰式」が開催されました。応募総数小学校六一二点、中学校一三二二点



小学校「ふるさと山梨優良賞（推進委員長賞）」に

は、市川小学校三年の（研究主題「春夏秋冬のふじ山とふじ山のふん火のれきし」）が選ばれました。

廃棄物適正処理学習会

勸学院祭での発表という機会はなくなりりましたが、勸学院生の皆さんの目標に向かって一生懸命に取り組む姿勢は、素晴らしいものでした。その姿勢と気持ち、いつまでも若らしさを保つ秘訣ではないかと感じました。

山梨県峡南林務環境事務所主催「廃棄物適正処理学習会」が一〇月二二日（水）に南部中学校で実施されました。

中学生を対象に、不法投棄の現状や、ごみの分別方法を理解することにより、廃棄物適正処理の意識向上や将来の不法投棄防止を目的として毎年行われている事業です。

峡南林務環境事務所環境・エネルギー課の職員が講師として、全校生徒に解りやすく廃棄物の適正処理について説明しました。



不法投棄について、峡南地域の現状を、写真やグラフを用いて解りやすい説明を受けました。さらに、生徒の皆さんにとって身近な、南部町内三つの地区の山中や道路脇に不法

投棄された洗濯機、冷蔵庫、廃タイヤ、空き缶等の写真が紹介されました。また、「不法投棄は犯罪。五年以下の懲役または一千万円以下の罰

金」「不法投棄防止対策として柵の設置は、一mあたり一万円かかる」「昨年度、廃棄物の撤去費用は約四十万円。その費用はもとを正せば私達の税金である」ことが紹介され、生徒の皆さんは驚いていました。ごみの分別について、ごみ処理の歴史に関する動画を視聴しました。「分別することで資源が再利用されること」を学習しました。

分別クイズでは、問題に対して一生懸命考え、正解と思うものに手を挙げていました。

まとめとして「本日の学習会の内容を大人になっても忘れず、地域の環境を地域が守るという意識を持つて欲しい」と講師の方は話しました。

最後に、生徒会



副会長の皆さんが、お礼の言葉とともに「今までで廃棄物や不法投棄について詳しく知らなかった。南部町の現状を知り残念なこともあった。自分たちが不法投棄をせず、ゴミの分別を行い、ゴミを減らし資源を増やすことで、南部町をもっときれいに、過ごしやすい町に変えていけると知った」と感想を述べて学習会が終了しました。

学習を通して、地域の現状を知ると共に、地域・地球の環境を守るためにどう行動すれば良いのか考える機会になりました。